

組織のソーシャルデザインに寄与する CMSの構築

芸術学部
ソーシャルデザイン学科
教授
井上 貢一



研究シーズの紹介

CMS(Content Management System)とは、Webサイトを構成するテキストや画像などの、様々なデジタルコンテンツを効率的に管理するシステムの総称です。近年、様々なCMSが登場し、IT系企業を中心に、社内システムとしての活用が進んでいますが、一般の組織や地域コミュニティでは活用が進んでいないのが実態です。

当研究室では、学会組織、学内Webサイト等にCMSを実験的に導入し、参加者全員が、直感的に情報の管理・更新ができるよう、システムの最適化を図る研究を行っています。

誰もが自由に、持続的な活用ができるよう、オープンソースのWikiシステムをベースとして、参加者が楽しめるインターフェイスづくりにも挑戦しています。



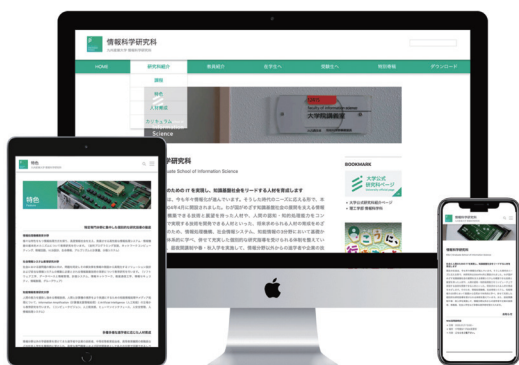
Wikiシステム

- 誰もがWebブラウザから簡単に記事を更新することが可能です。
- Web上で情報を一元管理することで、業務を効率化できます。



オープンソース

- プログラムのソースコード自体が公開されたソフトウェア。
- 知識と技術さえあれば、誰もが自由に（無料で）利用できます。



期待される活用シーン

- 組織の様々な情報に効率よくアクセスしたい。
- 迅速に情報発信したい。
- 情報を一元化したい。



Wikiの導入によって、情報が一元化。誰でも、いつでも、どこからでも、編集に参加できるようになります。



- 情報を共有して、組織の人間関係を活性化したい。
- メンバーの自己表現の場をつくりたい。



参加者ひとりひとりが個人のページを持つことで、自由闊達な情報発信と知の共有ができます。



その他の研究テーマ

Web標準技術を用いたインタラクティブな映像表現に関する研究
映像編集におけるショット間の継時的群化の要因に関する研究